

鉄道車両・同部分品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	2	16~17	ペーパーサンダー作業中、立ち上がった際に接触し右膝を負傷した。	42	153	8	30 ~ 49
2017	2	20~21	業務終了後入浴中、浴室内を歩行する際に左足を床面タイル部で滑らせ、その時に右足つま先が排水溝蓋の隙間に挟まった。そのために右足首に全体重がかかった状態で内側方向に捻った。	57	419	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	製作所内のD2ピット3番、4番線間、海側スロープ部において、昼休み前に一旦使用工具類を片づける為、スロープからピット内へ降りる際、降り口に敷設された外部給電ケーブルを避けようとしてスロープの右傾斜部へ右足を踏み入れたところ、右足首を捻り受傷した。	40	417	19	30 ~ 49
2017	3	16~17	集電環清掃作業中に体のバランスを崩し、左手で支えようとした際に歯車箱のオイルフラッシング装置駆動ローラー部と車軸の間に左手を巻き込まれ受傷した。	54	121	7	500 ~ 999
2017	4	9~10	クレーンで品物を下す時に、下の品物との間に右手中指が挟まり負傷した。	70	211	7	50 ~ 99
2017	5	10~11	事務所玄関の出入口を事務所から屋外に出るため、約10cmの段差のある階段を歩行中に前方の停車中のトラックが気になり、足元の確	64	413	2	100 ~

			認をしないまま、段差の角に右足を乗せて関節を捻る。					299
2017	6	9~10	当社請負先企業、製造部の新交通システム車両台車組立職場において、車両台車用中心ピン（540mm×470mm×高さ315mm、重量60kg）をホイストクレーン（1t）を使用して（クレーンの操作は本人がしていた）圧入機まで運搬する作業中のことであった。中心ピンにつば付ブッシュ（φ217mm／φ170／φ150×195L、9kg）を圧入するため、ホイストクレーンで運搬し、圧入機にのせた時に、床に置いてあった架台の脚に右足を引っ掛けて転倒しそうになり、咄嗟に中心ピンの先端に左手を着き体を支えた。その時、右手に持っていたホイストクレーンペンダントの上昇ボタンを誤って押ししまい、吊っていた中心ピンが上昇し、圧入機上部の油圧シリンダーロッド部と中心ピンの間に左手を挟まれ、受傷した。再発防止策として、2S（整理・整頓）を徹底し、作業エリアの作業者の動線を確保する。	35	211	7	30~49	
2017	6	10~11	ボルトを拾い集めている時、ホルダーが落ちてきて、右手中指・薬指を挟み負傷した。	54	611	4	50~99	
2017	7	14~15	橋梁補修に使用するブラケットに、仮付けで取り付けてあったプレート（重量約140kg板厚55mm、550mm×550mm）を取り外す作業中、プレートをマグネットで吊り上げる際、仮付溶接を完全に除去しない状態（確認が不十分であった）で吊り上げてしまったため、マグネットが外れフランジに添えていた左手指に落下し、受傷した。	21	379	4	50~99	
2017	7	9~10	新幹線車両から取り外した空調フィルター検修場でフィルターの粉塵防止のため水洗いし、「3枚」を捨てるために、前日にプラスチックかごに積み重ね、上に「重し」の砂袋（13kg）を4個乗せて水切りしていた。負傷当日、「3枚」を捨てるため、「重し」の砂袋を両手に1個ずつぶら下げて3m移動後、砂袋を床面に置こうとした時	69	611	19	100~299	

			に右肩を痛めた。				
2017	7	15～ 16	ベンダーで部品を作成するため鉄板を曲げているとき、鉄板とパンチの間に右手親指を挟んで出血した。	41	154	7	30 ～ 49
2017	7	11～ 12	車両検査棟で保守用車の作業進捗を確認後、作業台から降りようとして梯子の方向へ歩行中、足元にあったアイボルトを避けようとしてバランスを崩し、梯子に転落した。転落した際、咄嗟に右手で頭上の点検蓋の取っ手に掴まり、左手を前方の蓋枠に置いて体を支えていたため、点検蓋が体重により閉まり、蓋枠に置いた左手中指が挟まれ受傷した。	33	417	1	300 ～ 499
2017	10	13～ 14	車両用部品工場アルミ型材加工職場（2B工場）でアルミ長尺型材の運搬作業中に、梱包状態で地面に3段積み重ねていたアルミ長尺形の機材が4本目に型材を上に乗せた際にバランスを崩し右足の「スネ」を打撲した。	62	521	5	500 ～ 999
2017	12	11～12	事業所工場内において機械清掃中、上部に登るため機械に足をかけたところ、不安定だったためにバランスを崩し、上部にあったパイプにつかまった際、右肩を負傷した。	52	921	19	30 ～ 49
2017	12	16～17	工場内にて、ボール盤での穴あけ加工の段取り中、部品とタップの間に左手が挟まれた。	35	152	7	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html